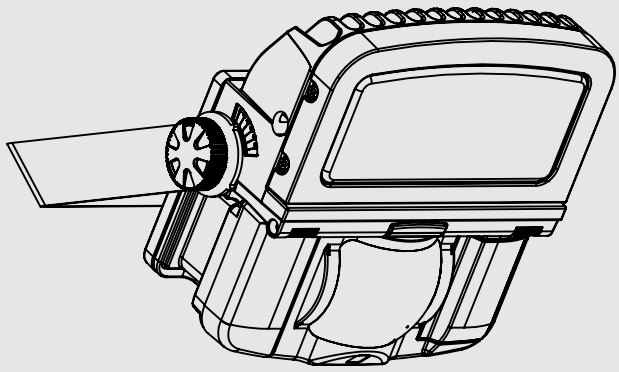
LC-3300SC90D・LC-3300SC90DPRO
取扱説明書（保証書付）



LC-3300SC90D・LC-3300SC90DPRO

・この度はLC-3300SC90D、LC-3300SC90DPROをお買い上げいただきましてありがとうございます。

・お取付けになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

・この取扱説明書をお読みになった後はいつでも見られるところに大切に保管してください。

・この製品は盗難・災害・事故などを防止するものではありません。なお万一発生した盗難・災害・事故による損害について、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・この製品は日本国内用です。海外ではご使用にならないでください。
This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

特　長 1
はじめに 2
安全にお使いいただくために 2

1　お使いになる前に 3
各部の名称と付属品 3
パッシブインフラレッド方式の検知原理と
ご使用にあたって 3
2　取付 4
取付のながれ 4
取付ブラケットの角度調整方法 5
検知エリアの設定 6,7
本体の取付方法 8,9
・壁や平らな柱などに取り付ける場合 8
・ポールに取り付ける場合 9
電源線の接続 9
機能設定 10,11
昼夜判別センサ目隠しシールの使い方 12
モード切替用M12コネクタケーブル(別売)の接続 12
動作テスト 13
3　メンテナンス 14

4　「おかしいな…」と思ったら 14
動作表示灯の見かた 14
思ったように動作しないときは 14
仕様 15
外形寸法図 15

特　長

この製品は駐車場をはじめとする屋外施設において「必要なときに必要な明かり」を提供します。

周囲が暗くなるとLEDライトが待機状態になり、人感センサが人を検知すると一定時間だけ明るく点灯します。

●最大器具光束は3300lm。

●検知エリアは抜けの少ない15m×15mのスクエアエリア。

●取付高さは2.5m～4.5mに対応。

●軽量で一体型のボディーにより高所作業でも簡単に設置が可能。

●電源AC100V～240Vで使用可能。

はじめに

■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、その表示と意味は次のようになっています。十分ご理解のうえ、本書をお読みください。いろいろな絵表示をしています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

⃠記号は禁止を示しています。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を示しています。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

燃えやすい物の近くで使用禁止	燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。昼でも本体に布や紙などがかぶさると点灯しますので、火災の原因となります。人がいなくても人感センサで点灯することがありますので、特にご注意ください。
取付方法を守る	本書に従って正しい方向に確実に取り付けてください。取り付けには方向性があります。安全のため必ず方向を確認し正しく取り付けてください。また、落とした製品は使用しないでください。 取付に不備があると、火災・感電・落下の原因になります。
取付場所に注意	湿度の高くなる物の上に取り付けないでください。ガス機器やその排気口の上に取り付けないでください。火災の原因になります。 振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地域では使用しないでください。 火災・感電・器具落下の原因になります。
電気工事は専門家に依頼	電気工事が必要な場合は、必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。一般の方による電気工事は法律で禁止されています。 アース工事は必ず電気工事士有資格者が行ってください。接続に不備があると火災、感電の原因になります。
異常なときは電源を切る	万一煙が出たり、変な臭いがする、火花が出るなどの異常な状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り異常状態がおさまったことを確認してください。お客様自身による修理は、危険ですのでおやめください。
感電注意	通電中は濡れた手で、本体に触らないでください。 （雨などで濡れているときも触らないでください。）
分解・改造の禁止	分解・改造は、危険ですのでおやめください。火災・感電の原因になります。

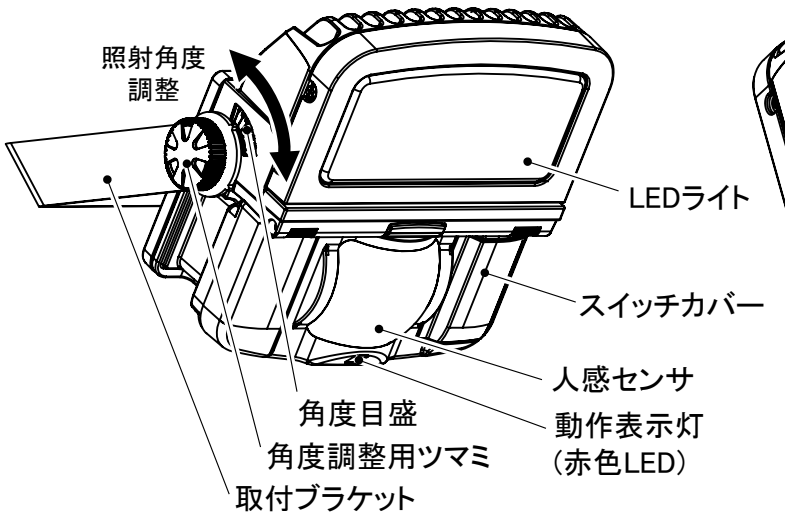
⚠ 注意

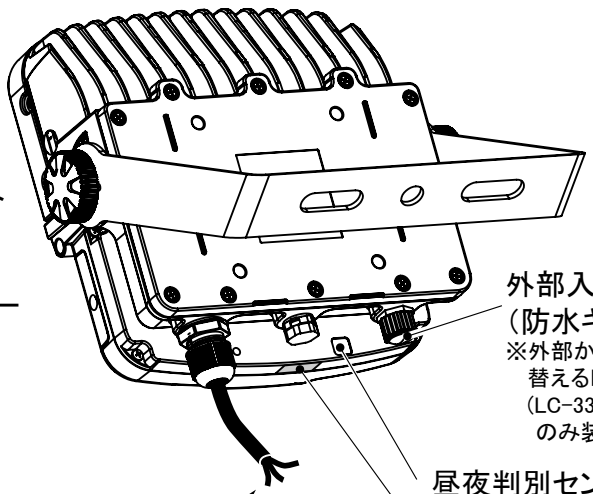
水や湿気の多いところでの使用禁止	この製品は一般屋外用（防まつ形IP44）です。常時湿度の高い場所、水に浸かるおそれのある場所、水中には設置しないでください。またホースなどで故意に水をかけないでください。火災、感電の原因になります。
表示された電源電圧以外での使用禁止	表示された電源電圧以外の電源で使用しないでください。 火災、感電、器具短寿命の原因になります。
設置の注意	器具の高所への設置は、設置部および使用する取付部材が質量に十分耐えられる強度かどうかをお確かめのうえ確実に設置してください。充分な強度がない場合落下して器具が破損したり、大けがの原因になります。 また、ぶら下がったり無理な力をかけないでください。器具が落下してけがをするおそれがあります。 落下事故防止のため、ワイヤーロープは必ず取り付けて下さい。ワイヤーロープは器具の質量の4倍以上の荷重に耐えられ、かつ線径1．5㎜以上のステンレスワイヤーをご使用ください。
定期清掃点検の実施	適正な明るさで、また安全に使用していただくために、定期的に清掃点検を実施してください。 不具合があった場合はそのまま使用しないでください。施工、保守点検の際には手袋等の保護具を着用してください。保守点検の際には電源を切ってから製品が十分に冷えるまで待ってください。
長期ご使用時の交換	照明器具には寿命があります。取り付けて10年以上が経過すると、外観に異常がなくても内部劣化は進行しています。長期にご使用いただいた場合は必要に応じて製品を交換してください。
ライトを直視しない	視力を損なうおそれがありますので、点灯中のライトを直接見ないでください。

1 お使いになる前に

各部の名称と付属品

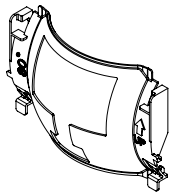
お使いになる前に、本体と付属品が揃っているか、また破損していないかお確かめください。





付属品

人感センサ用検知エリア
マスキングプレート
1ケ



昼夜判別センサ
目隠しシール
1枚

パッシブインフラレッド方式の検知原理とご使用にあたって

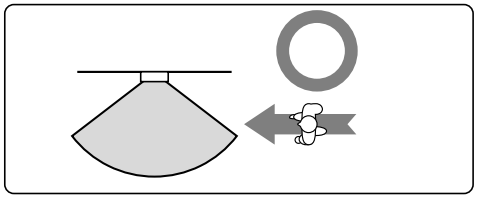
この製品は、検知エリア内に人や車が入ったときの温度変化により検知する方式です。周囲の温度変化によって検知距離が短くなったり長くなったりすることがあります。温度変化を検知しているため静止している人などは検知しません。

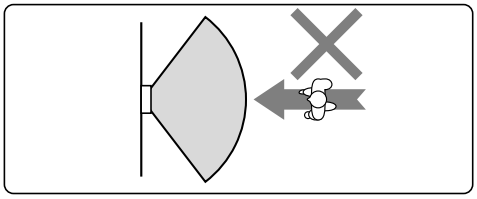
次のような場所に設置すると人がいなくてもLEDライトが動作したり、逆に人がいるのに点灯しなかったりすることがありますので注意してください。なお、ガラス越しはガラスが透明でも検知しません。

- 検知エリア内に木や旗などの動く物がある場所
- 建物脇の通路など狭い場所
- 取付高さ4．5mを超える場所
- 検知エリアの正面から太陽や車のヘッドライトが直射する場所
- 検知エリア内に大理石など反射の強い床面がある場所
- 周囲に壁や塀などの検知エリアを遮る物がある場所

取り付け後は必ず動作テストをしてください。詳しくは12ページ「動作テスト」を参照してください。
検知エリア外でも検知する場合は検知エリアを調整してください。。詳しくは6ページ「検知エリアの設定」を参照してください。

方向性があるためセンサに対して人が正面から近づくと検知しにくい場合があります。





2 取付

警告

燃えやすい物の近くで使用しないでください。
また布や紙などで覆わないでください。火災の原因になります。

LEDライト部は高温になります。電源を切ってから20分以上待ち、
必ずLEDライト部が冷めていることを確認してから作業してください。火傷の原因になります。

通電中は濡れた手で、本体に触らないでください。（雨などで濡れているときも触らないでください。）
感電の原因になります。

取付のながれ

この製品を取り付けるときは、以下のながれで行ってください。

準備

取付ブラケットとセンサの角度を調整し、検知エリアとLEDライトの点灯する場所を使用する目的に合わせて設定してください。

- **取付ブラケットの角度調整方法**(5ページ)
- **検知エリアの設定**（6ページ、7ページ）

取付

壁取付とポール取付の 2 種類の方法があります。

- **本体の取付方法**(8ページ)
  - ■壁や平らな柱などに取り付ける場合（8ページ）
  - ■ポールに取り付ける場合（9ページ）
- **電源線の接続**（9ページ）

設定

LEDライトの動作モードや光量設定、センサの検知感度などの設定をしてください。

- **機能設定**（10ページ、11ページ）
- **昼夜判別センサ目隠しシールの使い方**（12ページ）
- **モード切替用M12コネクタケーブル（別売）の接続**（12ページ）

確認・調整

取り付け後は、必ず動作テストを行い、センサが正しく検知し、LEDライトが点灯することを確認してください。
動作テスト終了後、状況に応じて各設定を変更してください。

- **動作テスト**（13ページ）
- **動作テスト終了後、状況に応じてセンサの角度、検知エリア、機能設定などを変更してください。**

取付ブラケットの角度調整方法

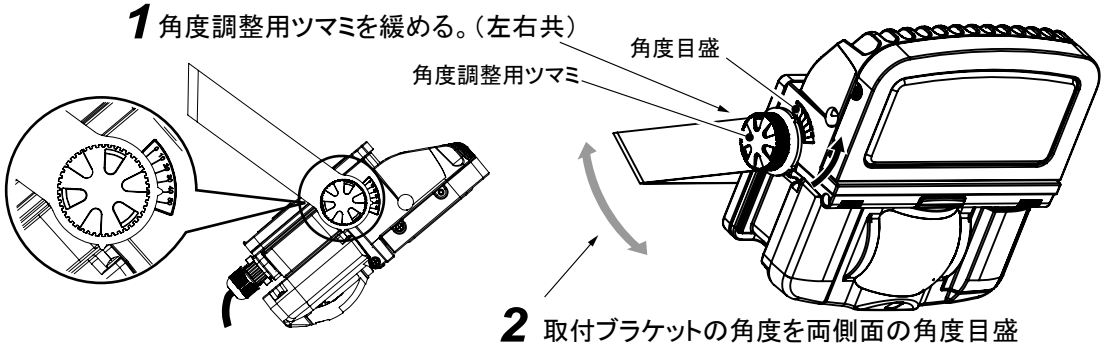
警告

燃えやすい物の近くで使用しないでください。また布や紙などで覆わないでください。
火災の原因になります。
通電中は濡れた手で本体に触らないでください。(雨などでぬれているときも触らないでください)
感電の原因になります。

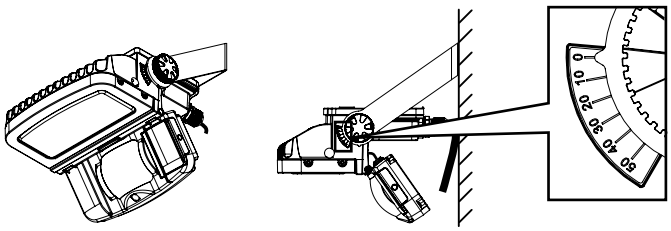
LEDライト部の角度調整

1 取付ブラケットが動くように角度調整用ツマミを緩めます。(左右共)

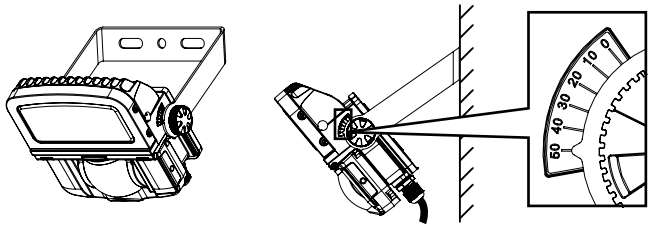
2 取付ブラケットの角度を調整します。
取付ブラケットの角度は上下に調整できます。角度は両側面の角度目盛を合わせて固定してください。
上下方向の角度は側面の0°～50°の目盛りの範囲内で行ってください



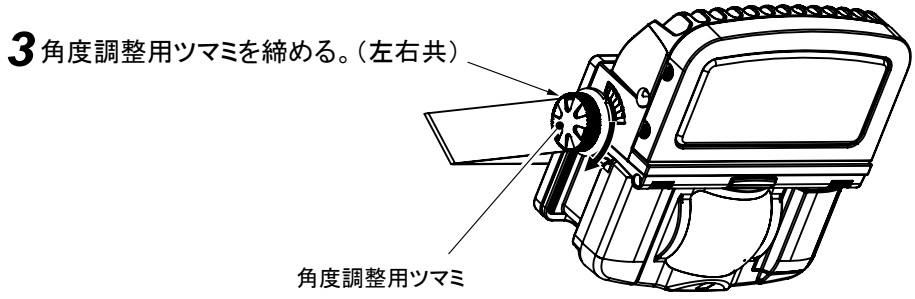
LEDライト部を真下に向けて使用したい場合、角度目盛0°に設定してください。



LEDライト部を上向けに使用したい場合、側面の角度目盛50°までの範囲で設定してください。



3 取付ブラケット左右の角度調整用ツマミを固く締めて、角度を固定します。



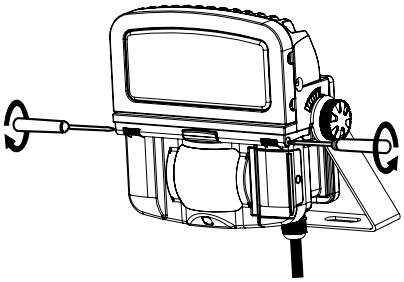
4 本体設置後、ご使用の状況に合わせて角度の調整を再度行ってください。

検知エリアの設定

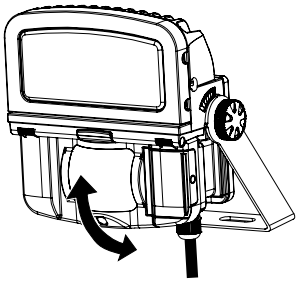
検知エリアの設定

●センサ部の角度調整による設定
センサ部の左右のネジをドライバーで緩めて、上下に動かして検知エリアを調整してください。
調整後は左右のネジをドライバーで締め、センサ部の角度を固定してください。

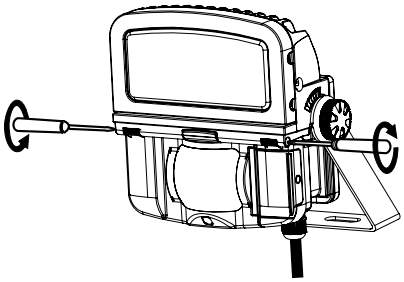
①左右のネジを緩めてください。



②センサ部を上下に動かして
検知エリアを調整してください。

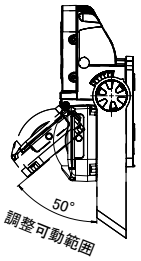


③調整後は必ず左右のネジを締めて
センサ部の角度を固定してください。



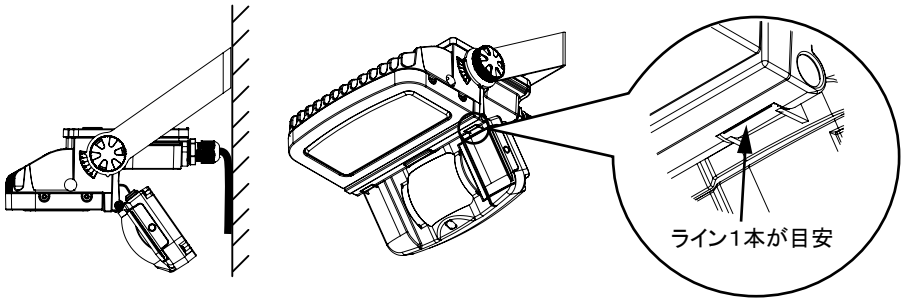
注意

センサ部は可動範囲（0°～50°）を超えて無理に力を加えないでください。
破損の原因になります。

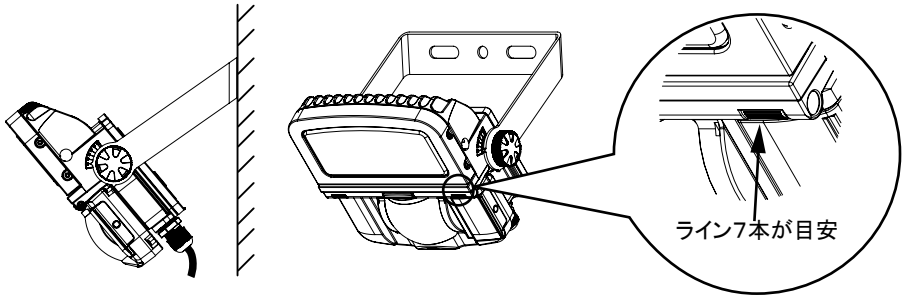


例）本体を高さ4．5mに取り付ける場合
※検知エリアはP．7『検知エリア図』を参照ください。

LEDライト部を真下に向けて使用したい場合、図のようにセンサ部を開いてご使用ください。



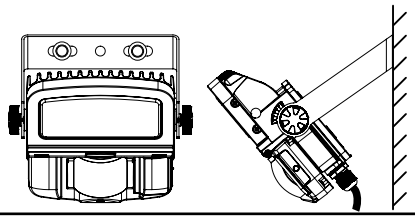
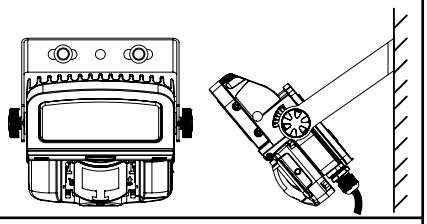
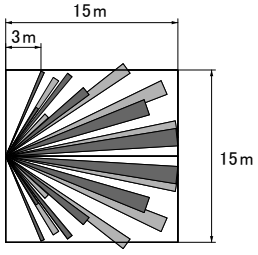
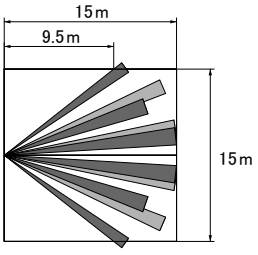
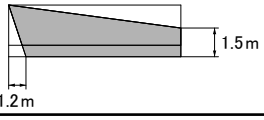
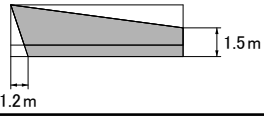
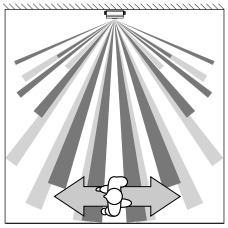
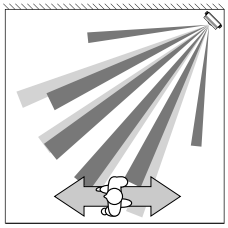
LEDライト部を上向き（側面の角度目盛50°）で設定した場合、図のようにセンサ部を閉じてご使用ください。



検知エリアは実際に動作テストを行い確認してください。
→P.12 動作テスト を参照ください。

検知エリア図

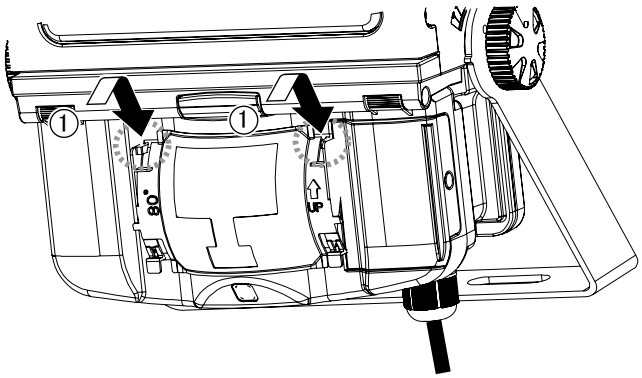
例）本体を高さ4．5m取付、LED照明部角度50°で設定した場合の検知エリア図

検知エリアマスキングプレートの装着		なし（150°エリア）	あり（80°エリア）
センサ部			
検知エリア図	平面図		
	側面図		
取付環境イメージ ※取付場所の特性による誤動作防止のため適切なエリア設定を行ってください。		敷地の辺に取付ける場合に設定 	敷地の角に取付ける場合に設定 

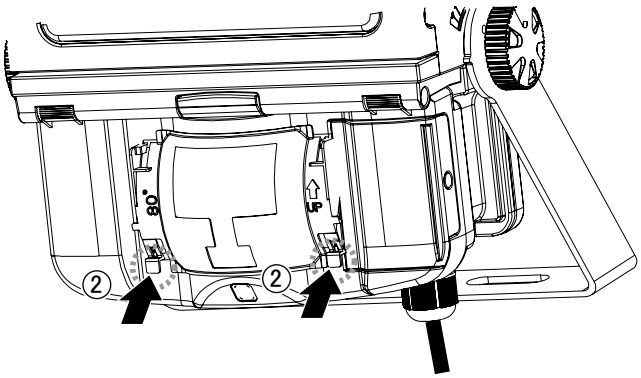
人感センサ用検知エリアマスキングプレートによるエリア設定

付属の人感センサ用検知エリアマスキングプレートをセンサに装着することにより、左右方向の検知範囲を狭くすることができます。

はめ方

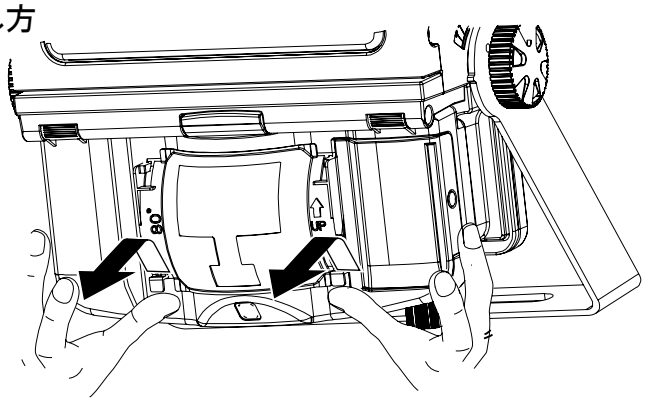


①マスキングプレートの上側の爪をセンサの穴にひっかけます。



②マスキングプレートの下側の爪をセンサの穴にはめ込みます。
完全に取り付けられていれることを確認してください。

外し方



マスキングプレートの下側の爪を上に持ち上げてセンサから外します。

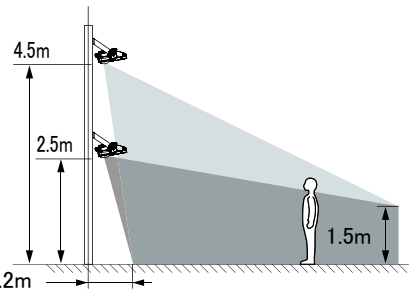
注意

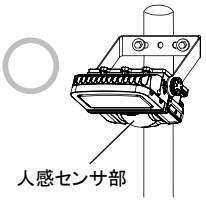
無理に力を加えないでください。器具が破損するおそれがあります。

本体の取付方法

本体は次のように取り付けてください。
・垂直な壁や柱などの取り付ける際、人感センサ部が下側になるように取り付けてください。
・本体を逆さや斜め、横になるように取り付けると、誤検知したり故障や漏電の原因となります。

取付高さは、2．5m ～ 4．5mで範囲にしてください。センサの特性上、4．5mを超える高い場所に取り付けると検知しにくくなり、性能が期待通りに得られないおそれがあります。取付高さを守ってください。





取付場所を決めるときは、安全面も十分に注意してください。

警告
・人や車、物がぶつからない所に取り付けてください。
・燃えやすい物の近くに取り付けないでください。火災の原因になります。
・本体が落下しないように、安定した場所に取り付けてください。
・長期的に強度が保たれる壁または柱などに取り付けてください。強度が保たれないときは器具落下によるけがの原因になります。
・取付面は定期的に点検してください。

本体を一時的に地面などに置く際の注意点

本体を地面などに置く時は、人感センサ部が地面に直接当たらないようにしてください。
レンズ表面に傷が付き、人感センサの性能が期待通りに得られないおそれがあります。

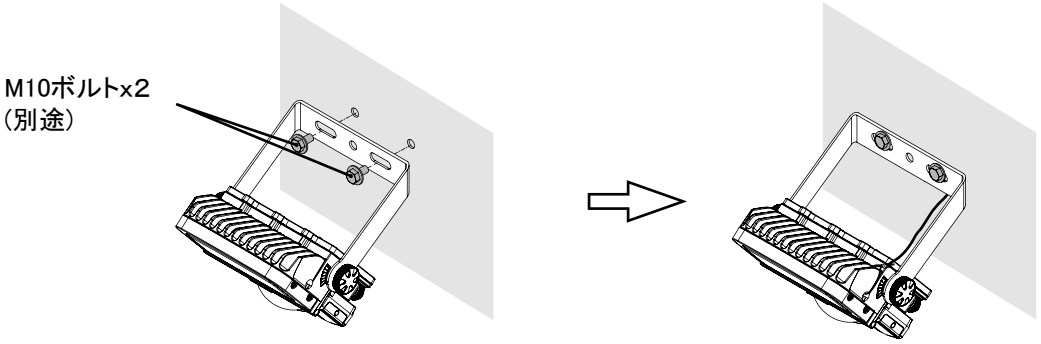
・本体を取り付ける前に、10、11ページ『機能設定』を参考にご希望の設定になっているかご確認ください。
・外部入力端子を利用する場合は、12ページの『モード切替用M12コネクタケーブル（別売）の接続』を先に行ってください。

■壁や平らな柱などに取り付ける場合

1 本機を壁や平らな柱などに直接取り付ける場合は取付面に適したネジを使用してください。
推奨ボルト：M10ボルト x2 （別途） 推奨締付トルク54N・m

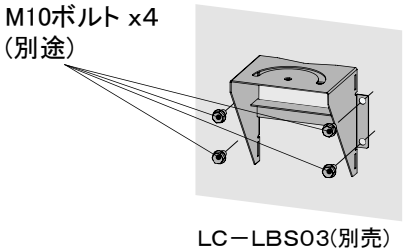
警告
長期的に強度が保たれる壁または柱などに取り付けてください。
強度が保たれないときは器具落下によるけがの原因になります。
取付面は定期的に点検してください。

2 落下事故防止のため、ワイヤーロープ（別途）を必ず取り付けてください。
ワイヤーロープは器具の質量の4倍以上の荷重に耐えられ、かつ線径1．5㎜以上のステンレスワイヤーをご使用ください。
取り付け後、確実に設置できていることを確認してください。

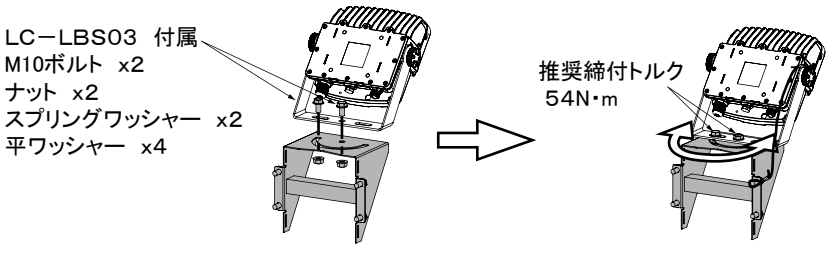


横方向の角度調整が必要な場合

壁面・ポール取付架台LC－LBS03（別売）を、壁や平らな柱などに取り付け、本機をとりつけてください。
落下事故防止のため、ワイヤーロープ（別途）を必ず取り付けてください。
ワイヤーロープは器具の質量の4倍以上の荷重に耐えられ、かつ線径1．5㎜以上のステンレスワイヤーをご使用ください。



LC－LBS03（別売）



■ ポールに取り付ける場合

ポールにポール金具を使って本機を取り付けます。
ポール金具　PA－150SB（別売）　適合ポール径Φ76．3～Φ114．3mm

1 ポール金具　PA－150SB（別売）付属のボルトを使用しポールに確実に取り付けます。

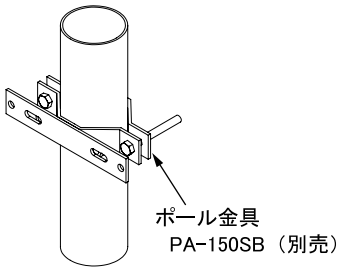
> **警告**
> 長期的に強度の保たれるポールに取り付けてください。
> 強度が保たれないときは器具落下によるけがの原因になります。

2 ポール金具　PA－150SB(別売)付属のM10ボルト、ナットを使用し本機を取り付けます。
M10ボルト　推奨締付トルク：54N・m

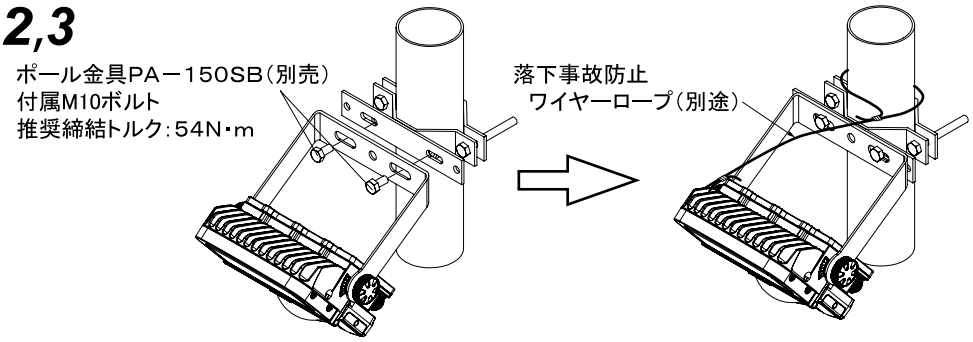
> **警告**
> ボルト、ナットの締め付けが不十分な場合、器具落下によるけがの原因になります。

3 落下事故防止のため、ワイヤーロープ（別途）を必ず取り付けてください。
ワイヤーロープは器具の質量の4倍以上の荷重に耐えられ、かつ線径1．5㎜以上のステンレスワイヤーをご使用ください。
取り付け後、確実に設置できていることを確認してください。

1

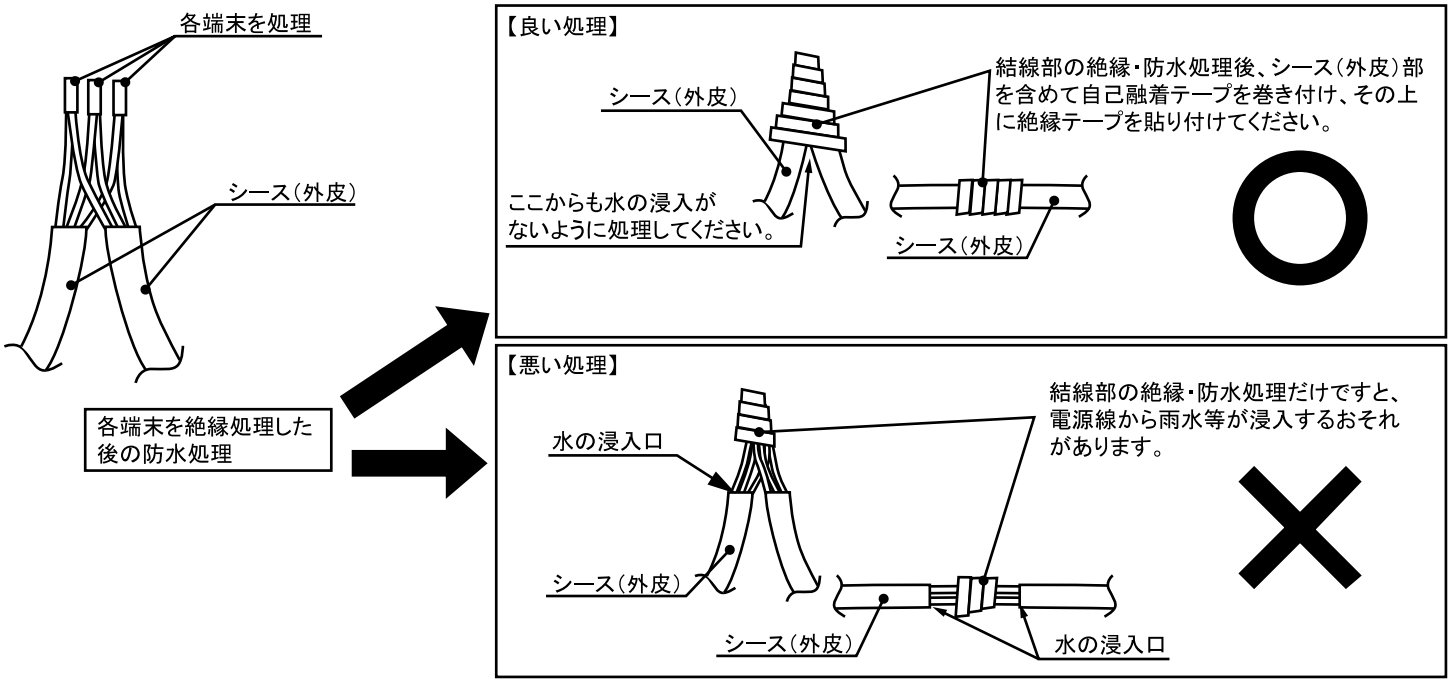


2,3



電源線の接続

本機の電源線（口出し線）（白：電源線（N）、黒：電源線（L）、緑：アース線）と電源を結線してください。
口出し線と電源の結線部は確実に絶縁・防水処理を行ってください。
絶縁・防水処理は結線部のみではなくシース（外皮）部も含めて行ってください。
絶縁・防水処理は自己融着テープ処理をし、絶縁テープを巻き付け行ってください。
不十分な場合、電源線からしみ込んだ水分により浸水不良の原因になることがあります。
本機から出ている電源線は切断せずにそのままお使いください。
電源線が長いほど浸水の影響は受けにくくなります。

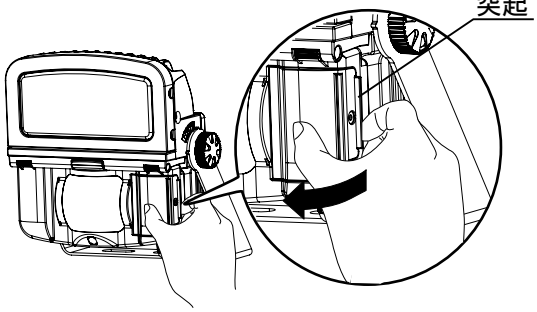


機能設定

スイッチカバー内部には、機能の設定を変更できるスイッチとボリュームがあります。ご使用になる条件に合わせて設定を変更してください。設定後は必ずスイッチカバーをはめてください。

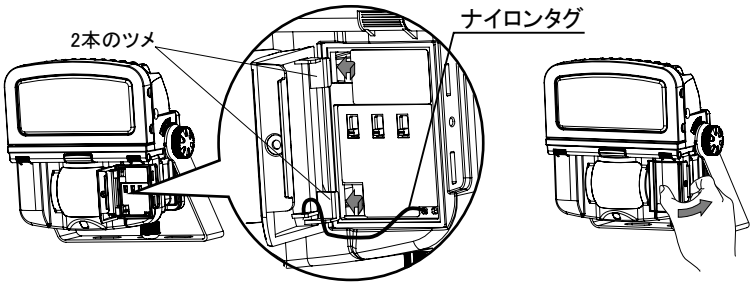
スイッチカバーの外し方

スイッチカバー横の突起に指をかけてカバーを手前に引いて外します。



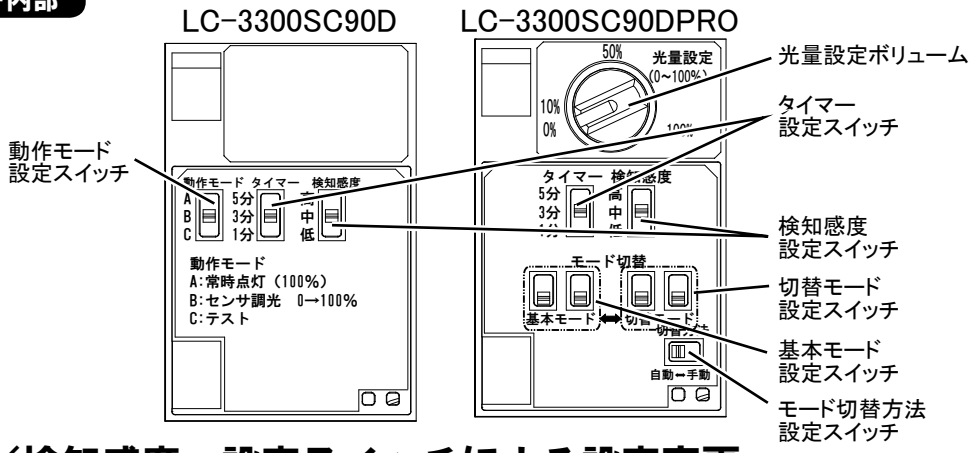
スイッチカバーのはめ方

スイッチカバー内側の2本のツメを引っ掛けた後、カバー右側を押し込み取り付けます。　※ナイロンタグをパッキンに挟まないように注意してください。



①2 本のツメを引っ掛ける。　②カバー右側を押し込み取り付ける。

スイッチカバー内部



■タイマー／検知感度　設定スイッチによる設定変更

※LC-3300SC90D、LC-3300SC90DPRO 共通

タイマー　※人検知時100%点灯の時間を設定します。	
5分 3分 1分	「５分」にしたいときに設定してください。
5分 3分 1分	「３分」にしたいときに設定してください。
5分 3分 1分	「１分」にしたいときに設定してください。

検知感度　※検知感度を3段階(高/中/低)から選択します。	
高 中 低	エリア内の人を検知しにくいときは「高」にしてください。
高 中 低	通常は「中」でお使いください。
高 中 低	周囲に人がいないのに動作するときは「低」にしてください。

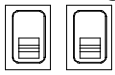
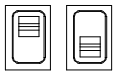
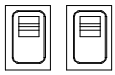
■LC-3300SC90Dの動作モード

動作モード設定スイッチによる設定変更

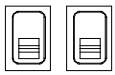
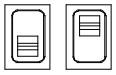
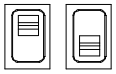
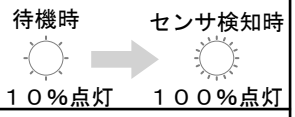
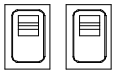
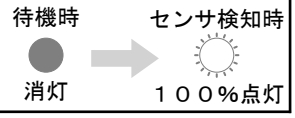
動作モード　※動作モードを設定します。	
常時点灯 A B C	夜間常時１００%点灯したいときに設定してください。
センサ調光 A B C	夜間に人感センサ検知時１００%点灯、待機時消灯にしたいときに設定してください。
テスト A B C	動作テスト時に設定してください。人感センサ検知時にフラッシングします。 テスト終了後、動作モードを他の設定にしてください。 ※周囲の明るさに関係なく動作します。

■LC-3300SC90DPROの動作モード

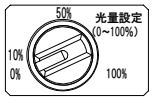
動作モード設定スイッチによる設定変更

基本モード　※基本モードを設定します。	
センサ調光① 	人感センサ検知時に１００%点灯させたいときに設定してください。 光量設定ボリュームにより待機時の光量を０～１００%の間で調節できます。
常時点灯 	夜間常時点灯させたいときに設定してください。 光量設定ボリュームにより点灯照度を０～１００%の間で調節できます。 人感センサは無効になります。
照度調光 	夜間、周囲の明るさに応じて、ＬＥＤライトの光量（１０～１００%の範囲）を自動的に暗ければ増光、明るければ減光します。 ※人感センサ、光量設定ボリュームの設定に関係なく動作します。
テスト 	動作テスト時に設定してください。人感センサ検知時にフラッシングします。 テスト終了後、他の設定にして下さい。 ※周囲の明るさに関係なく動作します。

切替方法　※切替方法を設定します。	
切替方法 自動↔手動	昼夜判別センサが夜と判定した後、３時間は基本モードで動作します。 3時間後、検知頻度が低い時は『切替モード』の設定で動作。 検知頻度が高い時は『基本モード』で動作します。
切替方法 自動↔手動	外部入力端子により、『基本モード』『切替モード』を切り替えられます。 （オプションのモード切替用Ｍ１２コネクタケーブルをご使用下さい） 接点開放（OPEN）　⇒基本モード 接点短絡（CLOSE）⇒切替モード

切替モード　※切替モードを設定します。		
基本モード /警戒フラッシング 	切替方法設定　※切替方法の設定により動作が異なります。	
	『自動』に設定	基本モードの設定で動作します。
	『手動』に設定	モード切替用Ｍ１２コネクタケーブルの先端を短絡（ＣＬＯＳＥ）かつ 人感センサ検知時にフラッシングします。待機時の光量は消灯固定です。
常時点灯 	夜間常時１０%点灯したいときに設定してください。光量は10%固定です。	
センサ調光② 	人感センサが検知時に１００%点灯、待機時１０%点灯したいときに設定してください。待機時の光量は１０%固定です。	
センサ調光③ 	人感センサ検知時に１００%点灯、待機時消灯したいときに設定してください。待機時の光量は消灯固定です。	

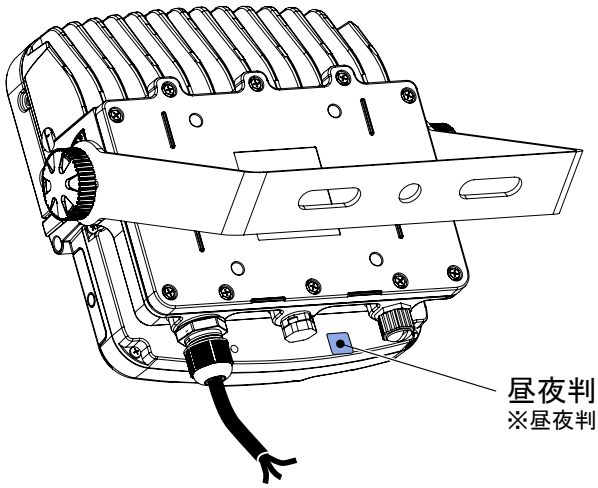
光量設定ボリュームによる設定変更

光量設定ボリューム	
	基本モードで『センサ調光』または『常時点灯』設定時の光量を設定します。 センサ調光時：待機時の光量を設定します。 常時点灯時：　常時点灯の光量を設定します。 ※点灯時の最低光量の設定は１０%です。１０%より低い設定は消灯になります。

注意　光量調整ボリュームは回しすぎによる破損に注意してください。

昼夜判別センサ目隠しシールの使い方

外付けのタイマースイッチや自動点滅器を用いて本機の電源を入り切りする場合にご使用ください。
昼夜判別センサ目隠しシールを昼夜判別センサの上にしっかりと貼り付けてください。
タイマースイッチや自動点滅器により本機の電源が入るたびにＬＥＤランプが一瞬点灯し、人感センサのウォームアップが始まります。
ウォームアップについては、１３ページの『動作テスト』を参照にしてください。



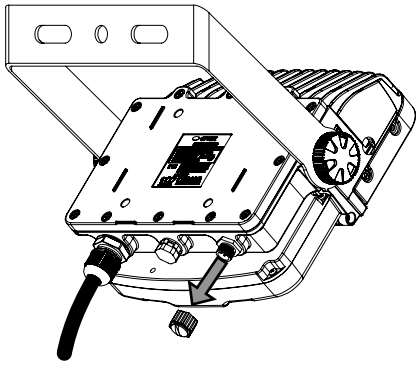
昼夜判別センサ目隠しシール
※昼夜判別センサの上にしっかり貼り付けてください。

モード切替用Ｍ１２コネクタケーブル（別売）の接続

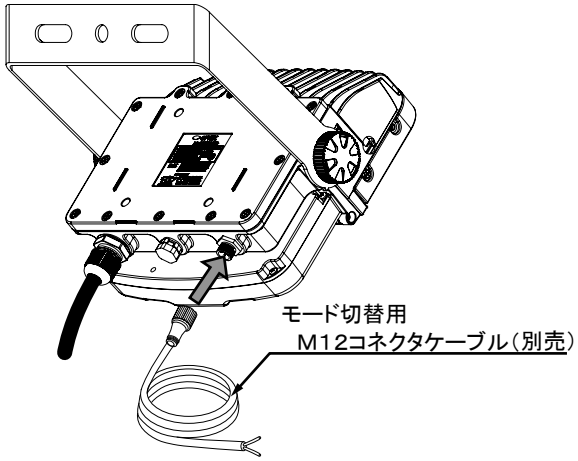
※LC-3300SC90DPROのみ

LC-3300SC90DPROは、モード切替用Ｍ１２コネクタケーブル（別売）を使用することで、切替方法『手動』設定時に外部から『基本モード』『切替モード』の切替ができます。

1 灯体下部にある防水キャップを外します。



2 接続端子にモード切替用M12コネクタケーブル（別売）を接続します。



モード切替用
M12コネクタケーブル（別売）

3 設定スイッチの「切替方法」を「手動」にし（→P. 11切替方法を参照）、モード切替用M12コネクタケーブルの先端を開放（OPEN）、短絡（CLOSE）させることにより「基本モード」と「切替モード」に切り替えられます。

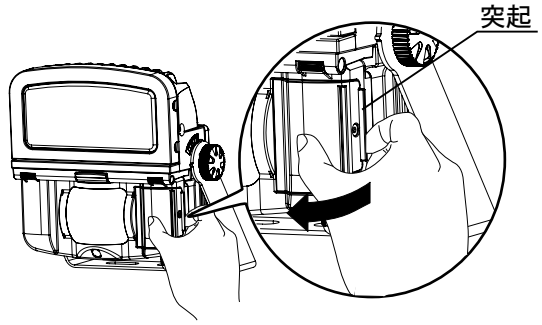
〈切替方法が手動の時の動作モード〉
・接点開放(OPEN):「基本モード」
⇕
・接点短絡（CLOSE）:「切替モード」

動作テスト

取り付けた後は必ず動作テストを行い、人感センサが検知して希望する場所でLEDライトがフラッシングすることを確認してください。

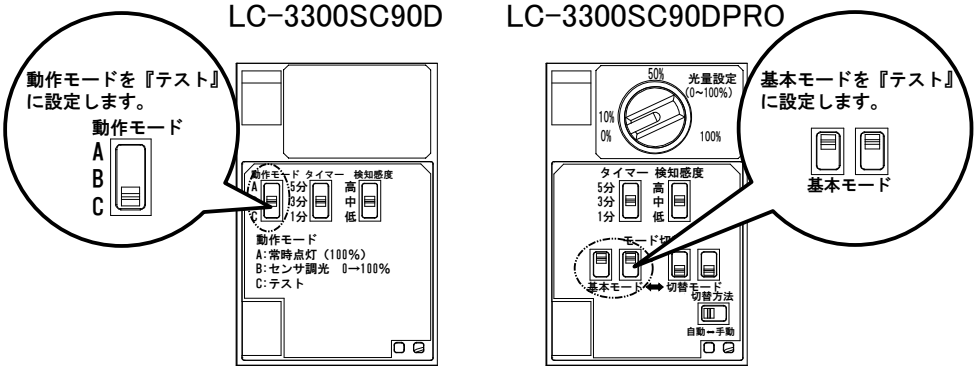
1 電源の結線を確認後、本機を通電させます。
電源投入後、人感センサのウォームアップが始まります。約1分間は人感センサは反応しません。
このときLEDライトは消灯、動作表示灯はゆっくり点滅しています。

2 スイッチカバー横の突起に指をかけてカバーを手前に引いて外します。



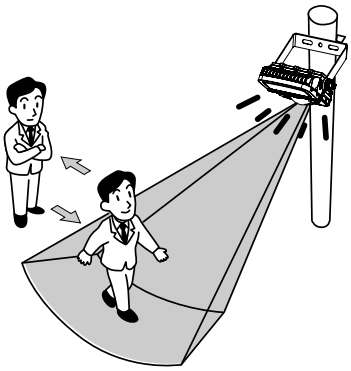
3 設定スイッチを『テスト』にします。

LC-3300SC90D　　LC-3300SC90DPRO



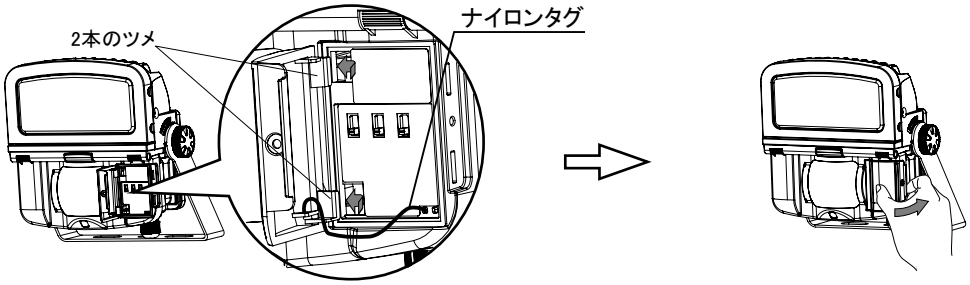
動作テスト時、LEDライトは周囲の明るさに関係なく動作します。
LEDライトは検知するとフラッシングし、待機時は消灯します。
動作表示灯は検知時点灯し待機時は消灯します。

4 検知エリアから離れて待ち、LEDライトが消灯したあと
検知エリアの中にゆっくり入ります。
再びLEDライトがフラッシングすると正常です。
LEDライトがフラッシングしない場合は14ページ
『「おかしいな・・・」と思ったら』を参照してください。



5 動作テスト終了後、モード設定スイッチをご希望の設定に変更してください。

6 スイッチカバー内側の2本のツメを引っ掛けた後、カバー右側を押し込み取り付けます。
※ナイロンタグをパッキンに挟まないよう注意してください。



①2 本のツメを引っ掛ける。　　②カバー右側を押し込み取り付ける。

3 メンテナンス

■ 汚れたときは

警告

濡れた手で、本体に触らないでください。
感電の原因になります。

・水洗いはしないでください。本体の汚れはやわらかい布で乾拭きするか、中性洗剤を薄めた水で湿らせた布をよく絞って拭き取ってください。ベンジンやアルコール、シンナーなどの化学薬品を使用されますと変色、変形、ひび割れを生じる場合がありますので使用しないでください。

■ 定期的な点検

製品を長期にわたって安全にご使用いただくためにも、年に1回は定期的な点検を実施してください。
・角度調整用ツマミの緩み。
・取付部の緩み。
・落下防止用ワイヤーロープの損傷。
・人感センサ部のねじの緩み。

4 「おかしいな…」と思ったら

動作表示灯とＬＥＤライトの見かた

動作表示灯とLEDライトの点灯/消灯によって、動作の状態がわかります。

動作表示灯	LEDライト	動作の状態
ゆっくり点滅	消灯	電源投入時（ウォームアップ時約1分）
消灯	動作設定により異なる	センサ待機時
点滅	消灯	照度センサが昼と判定している時に人感センサで検知した状態
点灯	点灯	照度センサが夜と判定している時に人感センサで検知した状態

※動作表示灯は周囲が明るいときに見えにくい場合があります。
※照度調光時は動作表示灯は消灯します。

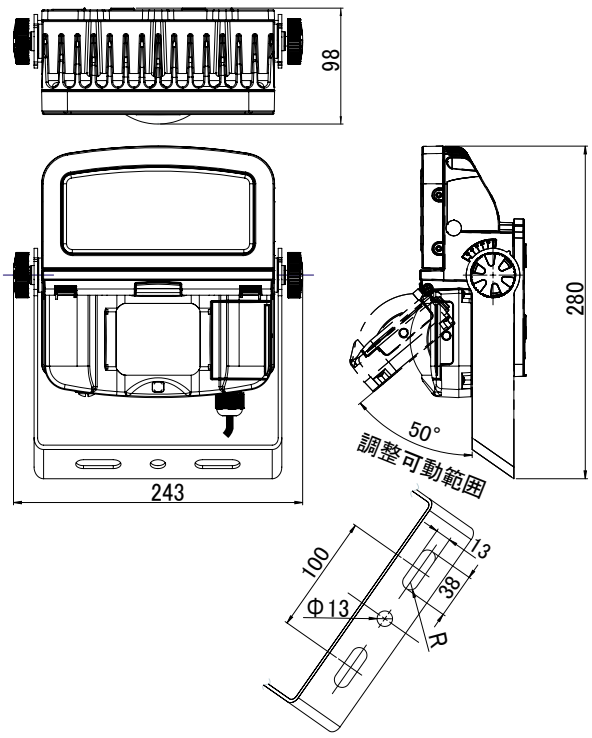
思ったように動作しないときは

症状	原因	対策
電源を入れてしばらくたってもLEDライトが点灯しない。	ウォームアップ中である。	約1分間お待ちください。
	周囲が明るい。	昼夜判別センサが昼判定時は、LEDライトは点灯しません。昼でもLEDライトを点灯したい場合は12ページの『昼夜判別センサ目隠しシールの使い方』を参照してください。
人がいるのにLEDライトが減光する。	人が動いていない。	検知エリア内に人がいても動かないと点灯しないことがあります。再度動くと点灯します。
	検知エリアの前にガラスなどの遮蔽物がある。	人感センサの前にガラスや壁などの遮蔽物があると、人の動きを検知できません。検知範囲の調整または取付場所を変更してください。
	検知感度が低い。	検知エリアを調整しても、調光動作点灯しない場合は10ページの『タイマー／検知感度設定スイッチによる設定変更』を参照し、検知感度を変更してください。
	100%点灯の時間が短い。	タイマー設定スイッチで、100%点灯の時間を長くしてください。 詳しくは10ページ『機能設定』を参照してください。
	検知エリア内に人が入っていない。	検知エリアを調整してください。
人がいないのにLEDライトが増光する。	検知エリア内に木や旗など動く物がある。	動く物があると、検知して点灯することがあります。詳しくは3ページ『パッシブインフラレッド方式の検知原理とご使用にあたって』を参照してください。動く物を取り除くか取付場所を変更してください。
	検知エリア内に熱源や風を出す物がある。	検知エリア内や本体付近に熱源や風を出す物（ヒーターやクーラーの室外機換気扇等）があると点灯することがあります。障害物を取り除くか取付場所を変更してください。
	検知エリアの延長線上に動く物がある。	自動車などが検知エリアの延長線上を通過すると検知することがあります。また周囲の温度によって検知距離が変わる場合があります。詳しくは3ページ『パッシブインフラレッド方式の検知原理とご使用にあたって』を参照してください。
	検知感度が高すぎる。	検知エリアを調整しても、調光動作点灯しない場合は10ページの『タイマー／検知感度設定スイッチによる設定変更』を参照し、検知感度を変更してください。
	検知エリアが広すぎる。	人感センサ用検知エリアマスキングプレートを使用してください。

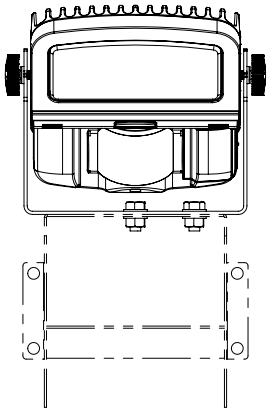
■仕様

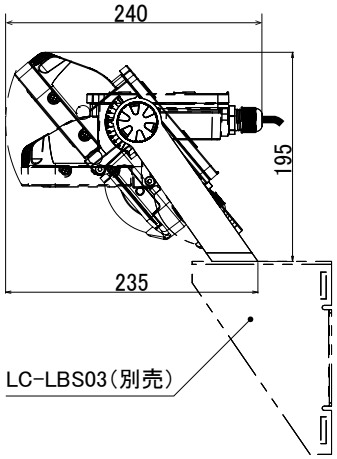
	型式	LC-3300SC90D	LC-3300SC90DPRO		
全体	定格電圧	AC100V-240V　50/60Hz			
	消費電力	39W			
	光源	白色LED(クールホワイト)			
	照射角度	90° サークル			
	色温度(CCT)	5650～6300K			
	演色性(CRI)	70			
	器具光束	3300lm			
	使用温度範囲	-20℃～+40℃(結露および氷結なきこと)/保存時:-25℃～+60℃			
	使用湿度範囲	35～85%RH/保存時35～95%RH			
	保護構造	IP65(防塵・防噴流形)			
	電源入力	キャブタイヤケーブル(VCT)　口出し線長さ約1.5m			
	接点入力	なし	モード切替用外部接点入力 専用M12コネクタケーブル(オプション品)		
	外形寸法	幅243mmx高さ280mmx奥行き98mm			
	質量	3.8kg			
	材質	アルミダイカスト、ポリカーボネート、高密度ポリエチレン、ステンレス(SUS304)			
	設置場所	屋外ポール、壁面			
	動作表示灯 (赤色LED)	電源投入時(ウォームアップ時):ゆっくり点滅　待機時:消灯 検知時(昼間):点滅　検知時(夜間):点灯			
	動作モード	A. 常時点灯(100%) B. センサ調光(0-100%) C. テスト	基本モード ・センサ調光① ・常時点灯(0-100%) ・自動調光 ・テスト	切替モード 自動設定時 ・切替なし ・常時点灯(10%) ・センサ調光② ・センサ調光③	手動設定時 ・警戒フラッシング ・常時点灯(10%) ・センサ調光② ・センサ調光③
	タイマー	1分/3分/5分　切替			
人感センサ	調整可動範囲	上下50°　可変			
	検知エリア水平角度	150° 80°（検知エリアマスキングプレート装着時）			
	検知方法	パッシブインフラレッド方式			
	検知ゾーン数	84本			
	検知感度	低/中/高　切替			
	付帯機能	温度補償回路(周囲温度に応じて検知感度を自動調整)			
昼夜判別センサ	昼夜判別	点灯　30 ～ 50 lx 消灯　50 ～ 70 lx (オープンエリアにて)			
機種判別ラベル		黄色	ピンク色		
付属品		人感センサ用検知エリアマスキングプレート　x1、昼夜判別センサ目隠しシールx1 施工説明書(本誌)			

■外形寸法図

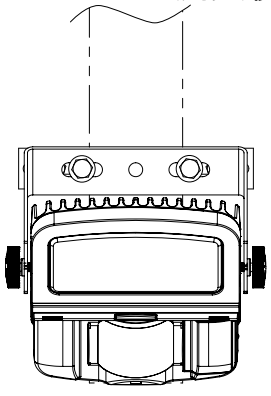


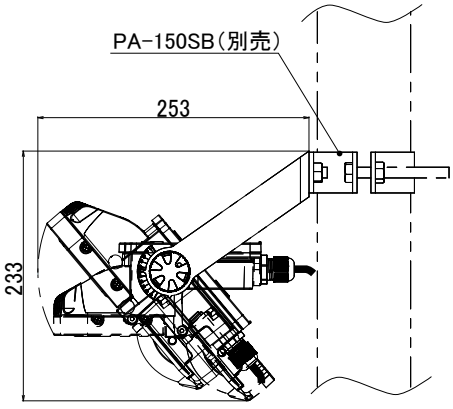
壁取り付け例
LC-LBS03(別売)使用





ポール取り付け例
PA-150SB(別売)使用





LC-3300SC90D/LC-3300SC90DPRO保証書

お買い上げ日		年　月　日
保証期間		お買い上げ日より3年間
販売店名	住所	〒　TEL.
	氏名	
お客様	住所	〒　TEL.
	店名	様

見本

- 太字枠内はお買上げ時に必ず記入を受けて下さい。
- 記入なき場合、本書は無効となります。
- 本書は大切に保管して下さい。再発行はいたしません。
- この保証書にご記入いただきました個人情報につきましては、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。
- この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

<保証規定>

Ⅰ.保証の範囲

1. 施工説明書に記載された正常な状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2. この保証は保証書に記載された製品について日本国内に限り適用いたします。
   This warranty is valid only for Japan.

Ⅱ.保証の条件

次に該当する故障は、保証期間中（お買い上げ日より2年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。

1. あやまった取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による破傷。
3. 本書に必要事項の記入がない場合、また本書と該当製品の提示がない場合。

オプテックス株式会社

本　　社：〒520-0101　滋賀県大津市雄琴５丁目８番１２号
TEL (077)579-8630　FAX(077)579-8170
東京営業所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1　新宿グリーンタワービル19F
TEL (03)3344-5775　FAX(03)3344-5734
http://www.optex.co.jp

15 03 5920084